

さて、最後の県議会定例会が二月十七日から三月十七日まで行われ、令和五年度の一般会計予算の総額は県政史上最大となる九、二六億円となりました。その内容は「新しくきま」と創造に向け「基本方針」に沿って組み立てられ、四つの柱があります。

任期中、最後となる会報八十号を発行すること
ができること大変うれしく思います。私が常に心掛
けていることまず「伝えまします」「つなげまします」の基本
である会報発行は色々な方々にこの協力を頂き、今
日まで継続的に発行できています。作成していたた
く人配布し、いたく人、読んでいたく人、全
ての皆様感謝いたします。ありがたうございます。

国・県・市町村の連携で創造的復興 命と暮らしを守り、次世代に道筋をつける！

蒲島知事から「今年には蒲島知事任期目集大成となる極めて重要な年です。熊本地震令和二年七月豪雨災害、新型コロナウイルス他感染症の三つの困難を乗り越え、熊本の輝かしく未来に向け「全庁一丸」として取組、県民の総幸福量の最大化を目指して参ります。」という言葉がとても印象的でした。私の地元でもある人吉球磨地域にとつては第一に挙げられている「令和二年七月豪雨からの創造的復興が最重要課題です。創造的復興を成し遂げるためには、常に国・県・市町村と連携していかねばなりません。それに加え、将来を見据えながら官民が連携して取り組みを進めることが大事です。引き続き、その役割を担うことができるよう努力してまいります。」

今年には統一地方選挙の年です。私の県議会議長としての任期は四月二十八日までありますのでその務めを果たしながら、統一地方選挙も乗り切りたいと思います。

活動報告

台湾訪問

1月11～14日、台湾経済界とのビジネス交流拡大及び高雄市との友好交流協定5周年記念行事のため、蒲島知事や経済団体を中心としたメンバーとともに台湾を訪問しました。熊本・台湾経済交流セミナーおよび熊本・台湾友好シセッションに出席したほか、TSMC本社、チャイナエアライン本社、高雄支店及び高雄市政府四維行政センターを訪問しました。今回の訪問を契機に、台湾経済界とのビジネス交流の更なる推進が図られ、また、高雄との友好交流の「絆」がより強固になるよう、引き続き、台湾との交流を大事にしていきたいです。

人吉の復興支援に関する意見交換会

2月8日、経営支援者（自治体、金融機関、商工会議所、商工会等）のサポートを行っている御ワイビー様、地方創生・中小企業経営・SDGs・ソーシャルマーケティングと手掛けられている、（一社）ちしん会様、コールセンター事業を主業として、フクデン接機会場運営・マイナンバーカード申請受付業務などを請け負われている熊ゼロインフィニティ様に議室を訪問いただき、人吉を活性化させるための経営支援者及び経営者の支援について、意見交換を行いました。人吉の復興のため、県外からも様々な企業が本気で支援に動いていただいていることに感謝です。

ふるさと納税の今後について考える意見交換会

2月16日、人吉の食品スーパーのイヌミ商事様、企業と企業を繋ぐBtoBプラットフォームを提供している熊インフォマート様に議室を訪問いただき、ふるさと納税や規格外野菜の流通等について、県執行部も又意見交換を行いました。それぞれの課題を解決する取組みの実施が、期待されます。

県立高校卒業式

3月1日、多くの県立高校で卒業式が行われ、人吉高校（全日制、定時制）と球磨工業高校で祝辞を述べました。今年の卒業生は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、入学期の規模が縮小され、修学旅行をはじめとする学校行事の多くが中止や延期とななど、様々な活動が制限された学年でした。将来の夢や希望を抱きながら、新たな旅立ちの日を迎えた卒業生の皆さん、の新しい世界での御活躍を期待しております。

▼編集後記

対話型AI「Chat（チャット）GPT」が世間の耳目を集めています。ChatGPTは人の質問に対しAIが自然な文章で答えるもので、大学のレポートや論文執筆などに利用されその精度が報道されています。なるほど試しに選挙解説を書いてもらったところそれっぽく記述してくれました。されど政治家に対する熱意と取る「あせます、伝えまします、繋げまします」は24年開党から政治姿勢であり、自らの言葉と行動を以て皆さんに訴えてまいります。<KT>

この会のお問合せは

溝口幸治事務所

〒966-0004 人吉市丸日町83 2F
TEL 0966-22-5800
FAX 0966-22-5802
http://www.k-mizoguchi.com
E-mail:office@k-mizoguchi.com

発行 溝口幸治事務所
記載責任者 蒲島幸治

みぞぐち幸治後援会所在地

人吉市丸日町83
2階
新事務所



災害に強いまちづくり

- ①すべての被災者のすまいの再建を実現。再建支援策(リバースモーゲージ利子助成、自宅再建利子助成、民間賃貸住宅入居助成、公営住宅入居助成、転居費用助成)
- ②災害公営住宅の早期完成によるすまいの確保
- ③土地区画整理事業の事業進捗によるまちづくりの具現化
- ④なりわい再建支援補助金による再建を目指すすべての事業者の施設・設備の復旧支援
- ⑤くま川鉄道の令和7年度全線復旧、JR肥前線の復旧に道筋
- ⑥地域の拠点・避難所としての公民館・みんなの家のなどの整備
- ⑦再建を目指すすべての農林業者の農地・農業施設など生産基盤の復旧
- ⑧平時における森林の適正な管理、整備への支援
- ⑨消防体制の効率化・消防力の効果的な充実強化に向けた人吉下球磨消防組合と上球磨消防組合の令和7年度の統合
- ⑩マイタイムラインの普及・啓発、水害補償保険への加入促進
- ⑪普段から近隣の交流を頻繁にし、災害時に協力して避難できる体制の構築

緑の流域治水

- ①人吉・球磨地域の地理的特徴、自然災害への対応など住民の備えをすべて見える化
- ②河川整備計画に基づく流水型ダム、遊水池、堆積土砂撤去、河道掘削、田んぼダムなどの取組み推進
- ③水位計、河川カメラの計画的な増設
- ④治山施設・砂防施設の整備による山の再生・強化
- ⑤長年ダム問題に翻弄されてきた五木村・流水型ダムの建設地となる相良村の振興
- ⑥市房ダムの適切な操作による防災・減災対策の推進、農業用水の適切な供給

投資を呼び込む

- ①農地の大区画化による生産性向上など儲ける農業の実現
- ②地域資源を活かした新たな産業の創出(企業立地促進補助金の「球磨川流域復興枠」の活用)
- ③ビジネスマンを対象としたワーケーションによる平日や閑散期の旅館・ホテルの稼働率向上
- ④ワーケーションのモデルコース作成、首都圏企業へのモニターツアーのセールス
- ⑤スマート技術導入による農林産物の生産性・品質向上
- ⑥豊かな森林資源を利用し、森林体験や商品開発による新たなビジネスを創出
- ⑦林業大学校と連携し、林業の魅力を伝える機会を創出、林業従事者の拡充と育成
- ⑧人吉球磨地域が連携し、農業所得の改善に向けた農産物の生産拡大、農業経営の安定化

政策実行のキーワードは「官民連携」で「球磨川流域一体」

地域資源を活かし人吉・球磨に来たくなるまちづくり

- ①人吉ひかり復興プロジェクトの更なる推進
- ②温泉施設、球磨川くんだり・ラフティング、棚田などを活かした観光スタイルの確立
- ③食、温泉、アニメなどの組み合わせによる、これまでと違う切り口から観光メニューの開発
- ④国宝青井阿蘇神社をはじめとする日本遺産に触れる周遊企画の造成
- ⑤外国人観光客に向けた魅力的な観光マップの作成
- ⑥地域の観光素材を掘り起こし活用する魅力ある観光地の形成
- ⑦「夏目友人帳」と連携した地域の魅力発信
- ⑧四季折々の自然を体感できるサイクリングロードの整備によるサイクリストの誘客(ツールド九州の誘致)
- ⑨球磨焼酎の世界進出による認知度向上と国内外の販路拡大・消費拡大(酒蔵体験プランの企画、球磨焼酎フェア開催等)
- ⑩人吉うまかもんフェスティバルなどの開催による被災した飲食店・生産者の再活性化

次世代のためのまちづくり

- ①地方創生の核となる魅力ある高校づくり(各学校の学びに応じた特色化・魅力)
- ②子どもの夢の実現に向けICTを活用した学力・体力・技術力の向上
- ③確かな学力、豊かな心、健康な体の育成のための魅力ある学校づくり
- ④子ども・学校・家庭・地域・行政の5者連携によるコミュニティスクールと地域学校協働活動の推進
- ⑤人吉高校・球磨工業高校の学生寮の整備
- ⑥人吉球磨地域一体となった部活動の受け皿(指導者・財源)づくり
- ⑦ひとよしくま熱中小学校を通じた地域活性化のための新たな人財の創出
- ⑧地域の通学、通院、買い物などの交通手段となるバス路線の利便性向上
- ⑨地域が連携し、農業所得の改善に向けた農産物の生産拡大を進め、農業経営を安定化
- ⑩地域内で連携した森林の適正な整備・保全、森林資源の利活用、後継者の育成・確保
- ⑪休日・夜間の救急医療など地域住民が安心して医療を受けることができる医療従事者の確保(産婦人科医師確保等)
- ⑫森林保水力調査や雨水浸透施設の設置など、南校高校と県立大学等が連携した最先端の治水研究の推進

人吉・球磨地域を支える人づくり

- ①県内経済団体と高校が連携し県内就職に向けた支援やインターンシップ
- ②農林水産業の新規就業者支援や若者の就業促進、多様な担い手の確保
- ③介護ロボットやICT機器の導入による医療・介護従事者の負担軽減
- ④復旧・復興を支える地域の建設産業が持続可能となるよう人材の確保・育成など事業環境の整備